

IOWNおよびAPN (オールフォトニクスネットワーク) の最新動向と今後の課題・展望

1名分料金で
2人目無料

◆日時:【オンライン受講】2025年3月12日(水) 15:00~16:30

【アーカイブ受講】2025年3月14日(金)~3月21日(金)

◆形式:ZoomによるWEB配信

◆聴講料:1名につき22,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき16,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で22,000円(税込))

HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2503134>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

[講師] 日本電信電話(株) NTTアクセスサービスシステム研究所 光アクセス基盤プロジェクト
プロジェクトマネージャ(主席研究員) 博士(工学) 吉田 智暁 氏

[受講対象]

通信キャリア、光通信機器メーカーの研究開発・生産製造・
営業販売に携わる方(初心者から上級者まで)

[習得できる知識]

- ・IOWN/IOWN Global Forumに関する基礎知識
- ・オールフォトニクスネットワーク(APN)に関する概要、技術課題
- ・APNの構成するノード構成技術、通信方式
- ・APNの標準化動向、ユースケースの知識

[講座のポイント]

社会・産業のデジタル化やリモートワールドの進展に伴い、通信ネットワークに接続する拠点や低遅延性に期待が高まっている。これらのニーズに対応するべくNTTはIOWN構想の実現に向けて、光ファイバが有する大容量、長距離、波長多重伝送能力を活かしたオールフォトニクスネットワーク(APN)の研究開発を行っている。本講演ではAPN実現に向けたネットワークの研究開発、光アクセス伝送・システム技術の最新動向について述べる。

[プログラム]

1. 背景
2. IOWN構想とIOWN Global Forum
3. All-Photonics Network
4. 光アクセス伝送技術の経済化
5. 光トランシーバの遠隔制御
6. Open All-Photonic Network Architecture
7. APNのユースケース
8. まとめ

【質疑応答】

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法などは申込後にご連絡いたします。

『IOWN』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい。 < オンライン アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書などをお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>